

!!」という男女ともかなりの好成績を取ることができました。しかし九山から帰宅した次の日に待っていた薬理の中間テストで、僕の成績は1回戦敗退となり涙をのむ結果になったのは偶然の出来事ではないでしょう。

3年生も2年生の時と同じか、それ以上にテストが毎月数回のペースで襲いかかってくるようです。学年が上がっていく毎に医学への専門性の高い講義になっていき、当然テストの難易度も上がってくると思いますが、それに合わせて自分たちの知識を増やし、しっかりカリキュラムについていけるように勉強をこなしつつテストの際をついて部活やバイト、趣味の時間を作って有意義な3年生生活を送っていきたいと思います。

大学生ということ

東江志月(2年次)

みなさん初めまして、2年次副年次長をさせていただいている東江志月と申します。

初めての南風に参加ということで少し緊張していますが、私が大学生になって体験したこと、感じたことをつたない文章ながらもご報告したいと思います。

1年生のみなさんご入学おめでとうございます！入学式からだいぶ経ちましたがいかがお過ごしですか？去年のわたしはこの時期、多分アルバイトを始めていたころだと思います。高校生との違いは、大学ではとても自由ということです。ほとんど全てのことに於いて、決定するのは自分自身です。金銭的にも、時間的にも高校時代とは比べ物にならないくらい余裕ができました。私が大学生になって初めて自分で決めて実行したことが、アルバイトでした。色々な体験をしたいと思ったので、家庭教師や塾のチューターだけではなく、スタジアムでのビールの売り子や結婚式でのホールの裏方もやりました。今は居酒屋でキッチンスタッフをしています。アルバイトをして学んだことは、お金を稼ぐことがものすごく大変だということです。高校生の時にはおこづかいとして母から簡単にもらっていた5千円が、今の私では8時間も働かないとももらえません。仕事の間はずっと立ちっぱなしで常に手を動かし続け、汗を流しながら、様々なストレスと闘いながら、それでやっと給料が頂けます。私は、大学生になって初めてこの世の中で仕事をしている方々のすごさを知り、自分が今までどれだけ甘やかされてきたのかを知りました。そして今まで女手一つで私を育ててくれた母をとっても尊敬しました。(お母さん、ありがとう！)

また大学生になって、知識や教養、一般常識の必要性を身をもって体感しました。大学生は社会人の一歩手前であるけどただの学生だけではおさまらない中途半端な位置にいます。ただ高校生の時とは違うのは、自由になった分、今の自分がどうあるのかは自分の責任であるということです。何事にも挑戦できる今、金銭的な理由以外には言い訳が通用しないと思いました。でもこんな偉そうなこと言っていますが、私は何一つ達成して



いない未熟者です。すみません(˘˘˘)

長々と堅苦しい文章を続けてまいりましたが、結局私が一番言いたかったことは、大学生はとても自由なのでこれからもいろいろな体験がしたいなということです♪

医学に関係しないようなことでも、将来的にはなにか役立つことがあるかもしれません。そう、きっと私が毎日鏡をじっくり見ながら頑張っているお化粧もきっと将来的には『器用』という結果になって返ってくるはず…(違うかーっ！)

みなさん、お身体にはくれぐれも気を付けて、どうもありがとうございました。

琉球大学医学部医学科に入学して

濱川和音(1年次)

私たちの学年は男子70人、女子38人の計108人と昨年に比べて男子の割合が高いですが、女子が比較的活発であるため少なさを感じさせず、今回実際に女子の人数を調べてみて驚いたほどです。1年次全体の約5割が沖縄県外の出身であり、半分以上のひとが一人暮らしをしています。私自身も初めての一人暮らしですが、慣れない生活で同じように大変な思いをしている友人が多いので、助け合いながら少しずつ友情を深めることができています。また、親睦会や先輩方が企画してくださった新入生歓迎会への参加率が9割以上と非常に高く、皆とても友好的であるため、入学して2か月とは思えないほど皆打ち解けてとても仲がよいです。

学業の面では、まだ医学の専門的な授業がほとんどないため物足りないとの声もあがってはいますが、2年次の授業内容をグループで予習したりWeb上の学習システムを使って英語力を高めたりと、自分たちなりに今出来ることを始めている人もいます。しかしその一方で、受験勉強からの解放感を引きずりなかなか勉強に身が入っていないように思える人も見受けられます。学年の雰囲気は全員でつくっていくものだと考えますので、1年次全体で切磋琢磨しながら頑張っていきたいです。個人的には、専門の授業が少ない今のうちに本を読むなどして医学以外の様々なことを学び、広く教養を身につけたいと考えています。

次に課外活動に目を向けますと、1年次のほとんどが何らかのサークルに所属しており、それを通して交友関係を広げて仲を深めています。入学して2か月の私たちが強く感じることは医学科の結束の固さです。先輩方は皆私たちと積極的に交流を持ち、学業や課外活動について親身になって話を聞きアドバイスをくれるので、すぐに大学生活になれることが出来てとても心強かったです。私たちも先輩方をとても慕っていて、心から尊敬し目標とすることの出来る方々に出会えたことを嬉しく思います。これからも出会いや絆を大切に、そこから多くのことを学んでいきたいです。

最後になりますが、6年間の大学生活を始めるにあたりとても良いスタートがきれたことを嬉しく思います。琉球大学医学部医学科の一員であることに誇りを持ち、常に向上心を持って頑張りたいと思います。そして、医師になるという強い思いを持ち集まった仲間と団結し互いに高めあい、有意義な大学生活が送れる



よう一日一日を大切にしていきたいです。これからもよろしくお祈りします。